



# 阪本だより

令和元年 12月 第306号

中央区立阪本小学校

中央区日本橋兜町 15-3 坂本町公園内

TEL.03(3666)0044 FAX.03(3668)2366

## 阪本小学校の研究

副校長 萩原忠幸

令和元年も残すところ1か月となり、年の瀬の慌ただしい時期を迎えます。本校も、「東京都教育委員会プログラミング教育推進校」および「中央区教育委員会研究奨励校」の指定を受け、特色ある教育活動の一つとして定着した「プログラミング教育」の研究発表が6日(金)に迫りました。

当日は、都外の教員や関係者からも参観希望があり、200名以上の参加が予想されております。そのため、誠に残念ですが、地域・保護者の方への公開は行いませんのでご理解の方、よろしくお願いたします。

以前の阪本だよりでも、何度かお伝えしたように、これからの予測困難な時代を生きる子どもたちは、解決策の分からない問題に、果敢に挑戦していくことが求められていきます。そのため授業でも、従来の解答がある問いだけでなく、決まった解答のないオープンエンドの問いが必要になってきます。

阪本小では、知識の詰め込みではなく、そのような問いに向かわせることで、「なぜそうなるのだろう」という疑問や課題と出会い、その解決に向けた論理的な思考から生まれる創造力を培うことが、これからの教育に必要なことだと考え研究を進めてきました。

本校の研究主題「学びの質的改善につながる指導法の工夫」に迫るための手立てとして、①深い学びにつながる対話的な学習の充実②プログラミング的思考を育成する学習の充実③ICT機器を効果的に活用した指導と評価に視点を当て、視点①では、個(個別学習)→グループ(協働学習)→全体(一斉学習)→個(個別学習)の流れを意識した学習過程の工夫や、身近な人々や社会に直接働きかける活動や体験に着目しま

した。視点②は、フローチャートを活用し課題解決するための思考を可視化し整理する学習活動に、視点③は、実物投影機・タブレットPC等による課題や資料等の提示、タブレットPCを活用した児童の作品の記録に着目し、今年の9月までに、1～6の各学年および音楽、図工の8つの研究授業を実践し、検証してきました。

発表当日はそれらを活かし、パソコン等を使用せずカード等を活用した「アンラグドプログラミング」、スクラッチ等を活用した「ビジュアルプログラミング」、ロボット教材等を活用した「フィジカルプログラミング」をツールとし、1～6の各学年で、それぞれ生活科・図画工作科・理科・社会科・算数科・理科の授業を公開していきます。

家庭科で調理実習をするから調理士になるわけではないように、プログラミング教育に取り組むからプログラマーやシステムエンジニアを育成するわけではありません。人工知能の急速な進化やインターネットでものが繋がる時代に、プログラミングを含めた情報活用能力は「読み・書き・計算」同様、第四のリテラシーに成り得ると考えます。挑戦や失敗を繰り返しながら高める論理的思考、論理的思考から創造的思考への高まりは子ども自身が体験し、経験しながら実感していくものです。

阪本小では、この研究を通して、「コンピュータの特性を習得し、日常生活に活かす。」「相手に伝わる発信ができる。」「間違いを自分で振り返り、正しい答えを導き出そうとする。」「指示待ち・課題待ちだった子が主体的に変わる。」といった子どもへの効果が表れてきています。来年度以降も、プログラミング教育を阪本小の一つの核に据え、なおいっそう時代の変化に対応した学びの実現に向けて一同、研鑽を積んでまいります。

<教育相談日>毎週火・金曜にスクールカウンセラーが相談に応じます。

日	曜	12月行事予定
1	日	
2	月	よい歯の講話 委員会
3	火	
4	水	全学年午前授業
5	木	青空班活動・なかよし給食
6	金	全学年5時間授業 プログラミング教育研究発表会
7	土	
8	日	
9	月	クラブ
10	火	安全指導 校外学習(6年)
11	水	
12	木	租税教室(6年)
13	金	
14	土	土曜授業 夢・未来プロジェクト (オリ・パラ教育 全学年)
15	日	
16	月	4～6年6時間授業
17	火	
18	水	ラグビー教室(5・6年)
19	木	避難訓練
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	4～6年6時間授業
24	火	給食終
25	水	終業式
26	木	冬季休業日始
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	